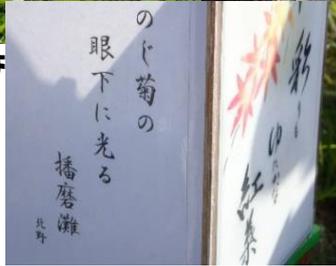


大塩のじぎく観察会



過って栄えた塩田は
太陽光発電施設に
かわってました



日笠山のじぎく園代表山本さんに大塩の町
を案内していただき、のじぎく園では
焼き芋・ミカン・コーヒーを頂きました

ナウマン象
とドングリ
とどっちが
古くから

インフレーションの実施

身近なのぎ
くの見分け
方は・・・

おいしいでー



キバナノジギク
昭和五年(一九三〇)に植物学者の牧野富太郎博士が大塩に来られたとき、のじぎくの黄花をつけたものを発見し、博士によつてキバナノジギクと命名されました。
(大塩に生る人々より)
このキバナノジギクは大塩公民館前にあるのじぎく保存園内で、賢明女子短大の杉田隆三先生が生育していた茎から出たきた新芽を切りとりさし芽して育てあげました。

